

降誕節第8主日

主日家庭礼拝順序

頌 栄 28

交読詩編 詩編78:40~55

讚美歌 287(1節)

聖書 マタイによる福音書14章22~36節

説教 「奇跡を行うキリスト」

祈り

使徒信条 93-4A

讚美歌 289(1節)

主の祈り 93-5A

■家庭礼拝の守り方

時間になりましたら、静かに心を整えて黙禱し、礼拝順序に合わせて礼拝を守りましょう。同じ時に、主にある兄弟姉妹と共に礼拝している事を思いながら礼拝を捧げましょう。

頌栄 最初に神様に栄光を帰します。

交読詩編 神からの呼びかけと人の応答です。

讚美歌 神を讚美します。

聖書 神の御言葉を読みます。

説教 御言葉の解き明かし。神様は私に何を語りかけて下さるのかを思いながら読み、しばらく黙想しましょう。

祈り 御言葉を心に留め、主に祈ります。

使徒信条 信仰を告白します。

讚美歌 御言葉への応答・感謝の讚美です。

主の祈り イエス・キリストの教えて下さった祈りで終わります。

献金 ゆうちよ振替口座 01110-0-55253

◆説教「奇跡を行うキリスト」

本日の聖書本文の一つ前で、主イエスは5つのパンと2匹の魚で成人男子だけで5000人が満腹になる奇跡を行われた。しかし、弟子たちがパンの奇跡とそれに伴う人々の反応で有頂天になってしまわない為に、強制的に船に乗り込ませ、向こう岸へ行かせた。舟は既に陸から離れており、逆風が吹いていたために、彼らは波に悩まされていた。

主イエスは夜明け頃、海の上を歩いて彼らの方へ行かれた。弟子たちは波と風に悩まされ、恐怖も抱いていたので、イエスが海の上を歩いておられるのを見て、幽霊だと言っておじ惑い、恐怖のあまり叫び声をあげた。しかし、主イエスはすぐに彼らに声をかけて、「安心なさい。わたしだ、恐れることはない」と言われた。するとペトロは「主よ、あなたでしたら、わたしに命令して、水の上を歩いてそちらに行かせてください」と言ってしまった。

主イエスが、「来なさい」と言われたのでペトロは舟から降り、水の上を歩いてイエスの所へ行った。しかし強い風に気がついて怖くなり、沈みかけたので「主よ、助けてください」と叫んだ。主イエスはすぐに手を伸ばし、ペトロをつかまえて、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか。」と言われた。二人が舟に乗り込むと、風は静まった。

ペトロは主イエスの言葉に従って、今まで経験したことのない体験をした。しかし、目の前の出来事を見た瞬間怖くなり水に沈みかけた。そのような失敗を通してそれが教訓になり、弟子たちの信仰が深

まり、彼らの信仰が成長していく。主イエスと共に舟に乗り込んだ時のように、キリストを私の中に迎え入れた時、平安が訪れる。試練を通して神は多くのことを教えてくださる。イエス・キリストを知ることが出来たのは何と素晴らしいことであろうか。「安心なさい。わたしだ。恐れることはない。」と言われたイエスの言葉を忘れないようにしましょう。

33節を見ると、弟子たちは、イエスの水上歩行、ペトロの救出劇、嵐の静まりを通し、イエスを「押んで」、「本当に、あなたは神の子です」と言った。この後、キリストを乗せた舟は向こう岸に到達する。彼らは今回の体験を通して、キリスト観が進歩した。イエスのすばらしさをさらに知る者となった。私たちもまた、イエスを知る歩みの中に置かれている。

◆祈り

試練の中にいる私たちに近づいて下さり、共にいて守って下さる復活の主イエス・キリストに感謝の祈りを捧げる。新型コロナウイルスが一日も早く終息するように。引き続きキリエ・エレイソン(主よ、憐れみ給え)と祈りましょう。

■教会 緊急事態宣言の延期に伴い、3月7日(日)まで家庭礼拝形式になります。

2月14日(日)礼拝後定例幹事会

■教会学校

2月14日(日)9:00

お話 上野博美姉 奏楽 田中祐子姉

2月21日(日)9:00

お話 田中祐子姉 奏楽 柏本庸子姉

■今後の主な予定

○幼稚園 2月19日(金)年長思い出の会

◆信徒の友2月号の「日ごとの糧」2月4日に神戸平安教会が載りました。お祈り下さった沢山の教会からハガキと手紙が来ています。感謝します。掲示板に貼ってありますのでご覧ください。